

経営経済担当

	例えば、こんな研究をしています	学生・受験生へのメッセージ
 おざわ わたる 小沢 亘	○地域の資源探索と問題解決手法の研究 ○農業人材のスキルアップに関する研究 ○農業関連経営体の効率性に関する研究 https://researchmap.jp/read0038015	農林業経営者は自身が持っている資源、獲得できる資源を最大限に活かしながら、経済環境の変化や制度・政策の変化に対応して、経営体を継続します。そのために必要な経済や経営に関する知識と考え方を獲得しましょう。
 くろたき ひでひさ 黒瀧 秀久	○地域活性化と農業6次産業化に関する研究 ○地域循環型農業の研究 ○食料自給率と食料安保論に関する研究 ○地域農林業の流域管理システム https://researchmap.jp/read0117002	農業は、人間の生活において一番基礎となる衣食住のうち、食料を供給する産業である。人類は今から一万年前にさかのぼって農業を開始し今日に至っている。その歴史を踏まえて、今後の日本の農業のあり方を展望しましょう。
 ふ ばい 胡 柏	環境に配慮した先端的な農業経営や元気な地域社会を創るためにどうすればよいかについての研究を行っています。例えば、こんな研究をしています。 ○農業経営の実態把握と経営評価手法の開発 ○環境保全/有機農業の技術と経営の実態把握、拡大に向けた革新的取組の効果解明 ○有機農産物の消費形成と市場拡大の条件解明、など https://researchmap.jp/read0037314	農業は経済的に成り立ち、社会的・環境的に持続可能な産業でなければなりません。新しい時代にふさわしい元気な農業経営を目指す皆さんと志を共有し、ともに学び、耕していくことを楽しみにしています。
 よしなか さとし 吉 仲 怜	○果樹作経営の省力栽培に関わる経営評価 ○水田作経営の経営戦略 ○地域農業の担い手と農業労働力問題 ○農村RMO等、農村地域づくりの支援 https://researchmap.jp/yoshinaka.satoshi	全国各地で様々な農業が行われています。現場で活躍する農林業経営者に学びましょう。

稲作・病理担当

	例えば、こんな研究をしています	学生・受験生へのメッセージ
 さいとう くによき 齊藤 邦行	○水稻・ダイズ品種の多収性の解析 ○地球温暖化が作物生産に及ぼす影響 ○水稻有機栽培に関する生産生態学的研究 ○作物の物質生産に及ぼす暗呼吸の影響 ○水稻の窒素利用効率の向上 ○ダイズの耐倒伏性向上に関する研究 https://researchmap.jp/read0043061	稲のことは稲に聞け、農業のことは農民に聞け(横井時敬)をモットーに、環境保全と地力維持を前提とした圃場作物の多収穫・高品質・安定・低コスト・安全安心・持続性に調和のとれた作物生産技術開発を目標としています。AI やロボット、IoT といった先端技術を活用したスマート農業技術、温暖化など気候変動に適応した品種や栽培技術、温暖化ガス削減栽培技術、持続可能な有機農業技術の開発や普及が喫緊の課題です。
 みやさか あつし 宮坂 篤	○水稻の病害に関する研究 ○麦類の病害に関する研究 ○新しく発生した病害に関する研究 https://researchmap.jp/kaguya	植物保護学は、作物をいかにして病気、害虫、雑草から守るかという学問分野です。農業生産向上と生物多様性を目指します。新しい大学で是非一緒に学びましょう。
 しばた やすし 柴田 康志	水稻、大豆の 省力栽培、低コスト栽培、高品質栽培、多収栽培など、いろいろな栽培技術の研究 https://researchmap.jp/read0081225	どうしたら水稻や大豆で、 楽をして、たくさんのお金を稼げるか・・・ いっしょに考えてみませんか!!
 しおの ひろゆき 塩野 宏之	○土壌中の養分量を考慮した適正施肥に関する研究 ○地域の未利用有機性資源を土づくりに利用する研究 ○水田から発生する温室効果ガス(メタン)を削減する研究 https://researchmap.jp/read0085143	土壌・肥料学は、土壌微生物等を対象としたミクロな視点から、地球環境まで扱う幅広い学問です。この魅力ある分野について、是非学んでみませんか。

果樹担当

	例えば、こんな研究をしています	学生・受験生へのメッセージ
 あべ かずゆき 阿部 和 幸	○ニホンナシ、クリ、リンゴ、オウトウなど果樹の品種開発 ○ニホンナシ、リンゴへの病害抵抗性の付与に関する研究 ○自家和合性など有用形質を備えた果樹の育種素材の作出と遺伝解析 https://researchmap.jp/kazuyuki	食味が良く外観の美しい果物は暮らしを豊かにしてくれます。そのような魅力ある果実を生産する上で、果たしてどのような栽培技術が駆使され、また特長ある品種が利用されているのでしょうか？本学で果樹園芸学と高品質果実生産技術の基礎から応用まで学んでみませんか。
 いしぐろ まこと 石黒 亮	○寒冷地果樹（オウトウ、セイヨウナシ、リンゴ等）を中心とした品種開発、各主要形質の遺伝様式、成熟生理、樹体生育等に関する研究 ○寒冷地におけるカンキツの生育、果実特性に関する研究 ○加工専用果樹の省力的栽培体系について（研究予定） https://researchmap.jp/ishiguromak	果樹栽培において、共通の基本技術以外は、正解はありません。いろいろなアプローチから導き出されるやり方があるはずです。それは果樹園にたくさんあるはずです。皆さんと一緒に果樹園で答え探しをしましょう。また、先進農家の方々との対話や行政施策の中から栽培技術、販売戦略などの課題解決方法を学びましょう。
 ただ ふみと 多田 史人	○果樹の品種開発を効率化する栽培技術、遺伝子技術（DNA マーカー選抜、GWAS 解析、ゲノミックセレクション）の研究 ○果樹におけるスマート農業の研究 https://researchmap.jp/f-tada	果樹栽培の基本から近年開発された品種、栽培技術、遺伝子技術等について、本学の実習や講義で論理的に学び、農業の実践力を身につけていきましょう。

野菜・花き担当

	例えば、こんな研究をしています	学生・受験生へのメッセージ
 さとう たけよし 佐藤 武義	これまで、主要な花き類の生理生態的特性の解析と新しい生産技術の開発及び新規の品種や品目の栽培技術の研究開発及び普及に取り組んできました。具体的には、以下のとおりです。 ○LED 光源等の光波長を活用したトルコギキョウの切り花の高品質・計画生産技術の開発と普及。 ・光合成特性や光形態形成反応及び日長反応特性の解析をベースにした技術開発 ○サクラ「啓翁桜」の効率的な休眠打破技術の開発と普及。 ・低温処理、温湯処理、ジベレリン等の植物生育調整剤の組み合わせなどの解析をベースにした技術開発 ○新規の切り花や切り枝の生産技術の開発と普及。 ・花芽分化特性、休眠特性、温度・日長感受性等の解析をベースにした技術開発 https://researchmap.jp/satotakeyoshi87	園芸、農業は生き物であり、日々発展しています。バイオサイエンスの最新の知見等を活かし、園芸、農業の発展方向を見据えて将来像を描きながら、学修・研究に取り組んでまいりましょう。併せて、新しい大学における新たな交流、五感の育み、知識の蓄積、地域文化の享受等、いろいろな期待が膨らみます。
 ふるの しんすけ 古野 伸典	○積雪寒冷地域における園芸用温室の熱収支解析 ○栽培中に燃油をまったく使わないパブリカ栽培 ○光センサーを利用したえだまめの品質評価と栽培改善 https://researchmap.jp/sfuruno	スマート農業とは、異分野技術の融合です。新しい発想で、新しい技術を生み出し、ワクワクするような農林業を創りましょう。
 もり かずや 森 和也	○野菜類の省力、高品質、安定生産に関する研究 ○温暖化や気象変動に対応するための研究 ○農薬だけに頼らない、病害の抑制、軽減に関する研究	栽培・生産理論や技術は、農業経営を発展させるための重要な要素で、必要な知識や技術は実に幅広く、奥深いものです。基本をしっかり習得し、応用できる人材となれるよう、共に学びましょう！

畜産担当

	例えば、こんな研究をしています	学生・受験生へのメッセージ
 さいとう まさひろ 齊藤 政宏	これまで、 ○ 肉用牛、乳用牛、豚等の家畜の診療 ○ 牛の受精卵移植、人工授精に係る調査研究 ○ 農場防疫の強化 ○ 家畜伝染性疾病の清浄化対策 ○ これらに係る海外技術協力等に取り組んできました。 本学では、特に農場防疫の強化を研究してまいります。	最近のわが国内外では、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫、アフリカ豚熱などの重大な家畜伝染病が猛威を振るっています。これらの侵入を防ぐため、畜産農家をはじめとする畜産関係者は皆、家畜伝染病対策に厳しく取り組んでいます。また、消費者をはじめとする多くの国民からは、畜産物の安全・安心を求める声が高まっています。そのような中、家畜衛生学では、畜産農家にとって必須の家畜伝染病の侵入防止対策、生産性及び安全性の向上のための衛生管理、さらにアニマルウェルフェア・SDGsへの配慮の取組等を扱ってまいります。畜産を志す学生はもちろん、畜産農家と連携する耕種農業を志す学生におかれても、是非学んでみませんか。
 しょうじ のりあき 庄司 則章	○牛肉のおいしさ成分に関する研究 ○肉牛の飼養管理に関する研究 https://researchmap.jp/read0201604	飼料価格の高騰や牛由来の温室効果ガスの削減など、畜産を取り巻く環境はとても厳しいですが、解決策は必ずあるはずです。新たな発想で解決策を見つけ出し、これからもおいしい畜産物を消費者に届けていきましょう。
 たかお しんいち 高尾 慎一	○家畜の飼料に関する研究 ○家畜の飼養管理に関する研究	山形県は食材の宝庫と言われています。皆さんもおいしい農畜産物を生産・販売できるプロフェッショナルとして活躍できるよう、実践的な学びや研究を通じてサポートしていきます。

食品加工・6次産業化担当

	例えば、こんな研究をしています	学生・受験生へのメッセージ
 これかわ くにか 是 川 邦子	○農業を起点とした多様な展開（6次産業化）に関する研究 ○農産物直売に関する研究 ○女性農業者の組織活動に関する研究 https://researchmap.jp/korekawak	食品加工をはじめ、農業生産を起点とした多様な展開（6次産業化）は、新たな農業経営を切り拓くチャレンジです。そして、さまざまな知識を活用できる人材が何よりも大切です。この大学で学び、自分の力を思い切り発揮できる道を探ませんか。
 きじま なおこ 鬼島 直子	○米資源の高付加価値活用技術に関する研究 ○地域特産物を開発した新しい食品の開発 ○食品の食感を示す物性の評価方法の開発 https://researchmap.jp/read0085148	食品の科学は、どんな人にも身近な学問で、日常の食の疑問を解決し自分の生活や健康に役立てることができます。地域の産業となるような新しい食品の開発には欠かせません。新しい知識を学び、一緒に研究しましょう。